建築とリフォームの情報紙
技のリフォーム HOT PRESS
2005年 8月
Vol.4
編集・発行／
技ネット株式会社

［特集］技

既設の医院に増築して内科を開院

～隣接する眼科を開業しながらの制限のある設計・施工～

診療科によって異なる設計の考え方

富山県砺波市にある桐沢医院は、昭和30年代に婦人科を開業した、歴史のある医院である。平成2年に、同じ敷地内に眼科棟を建築し、その後、眼科の待合室や玄関の拡張などの増改築を行ったが、さらに内科を開設することになり、3回目の増築を行った。

内科の増築場所は、眼科棟横の駐車場として使用していたスペース。細長く、限られた空間だった。その中で設計を検討し、玄関と待合室は広げて眼科と共有。玄関の位置も移動した。新設する内科の設計は、同じ医院でも、眼科とは考え方が多少異なる。

「内科は眼科より一人ひとりのプライバシーに触れることが多く、他の患者さんに診察内容が漏れ聞こえないように、より気を配る必要があります」と、眼科医の山下先生は言う。

そこで、中待ちと診察室の間のドアを厚くし、中待ち側にBGMを流すシステムを導入し、診察中の会話が外に漏れないように工夫した。その反面、待合室での患者さんの都合・容態にスタッフがすぐ気づけるように受付はオープンカウンターにし、さらにサイドの壁側に窓を付け、目の届きやすい環境をつくった。

玄関や待合室は、眼科の患者さんも利用するため明るさにもこだわり、開口部を大きく取り照明も多めに設定した。

明るく広い待合室（上）。正面が内科受付。診察時間中は、ガラスなどのないオープンな対応ができる（中）。終了時には、シャッターを下ろして施錠する（下）。

バリアフリーを考えたゆったりとした正面玄関（上）。階段には、段が見えやすいように黄色のマーカーを付けた（下）。

眼科を開業しながらの制限の多い施工

施工に関しては、開業中の眼科への影響を最小限にしなければならない。工事による休診日を極力抑えること、患者さんが出入りするため、安全性の確保。診療に迷惑をかけない騒音対策。そして、眼科は精密機器を使用するため、粉塵対策が要望された。

そこで、眼科は現状のまま基礎工事にかかり、鉄骨を組み立て、最終工事の一歩手前まで仕上げておいて、1日休診日をとってもらうことにした。

「大きな音が出る工事は、木曜日の午後の休診や休日、祝日にすることにして、工程を組みました」と、担当者は言う。「その日に工事ができるように、前の工程を終わらせておきました」。

音の出る工事を休診時にすることは、同時に患者さんへの安全性確保にもつながった。

ある程度、増築部分ができあがると、既設との取り合い部分の工事にかからなければならない。気をつけるのは、埃などの粉塵対策である。既設部分の1メートル程内側に、軽量鉄骨で仮間仕切りを造った。

「ボードを張って、埃が入らないように目張りをして、仮のクロスも貼りました」と、担当者。

その間に、取り合い部分の下地材などの工事を進めた。増築は既設の鉄骨をガスで切るため、火を使う。防火にも細心の注意を払った。

「仮間仕切りにはクロスも貼って、見た目の問題も気をつけていただきました。きれいで違和感がなくよかったですね」と、山下先生。

玄関の位置も内科側に移動するため、古い玄関から新しい玄関へ、順に間仕切りと入り口を変えながら施工した。あとは、休診日に、間仕切りを取った部分の床や天井などの作業を、1日で仕上げまでやり遂げた。

機能的でやさしい医院がオープン

眼科との違いのひとつに、内科の方が薬について管理が厳しいということがある。受付は、眼科と同じオープンカウンターにして話しやすいようにしたが、薬局があるため、受付を施錠できるようにする必要があった。そこで、シャッターを設置することにした。

「大きな梁の下に、天井裏で納めなければならないので、納まりや下地の問題など苦労しました」と担当者。

また、正面入り口は、車椅子のまま入れるようにスロープを設置。ポーチから玄関、室内へは、段差のないバリアフリーとした。

「スロープは、非常に短いスペースで、ご迷惑をかけながら何とか造っていただきました」と、山下先生。

また、外壁は石調の落ち着いたイメージを要望されたが、前の壁にタイルを付けると重量がかかりすぎる問題があった。軽いものは何かないかと探した結果、石調のシートを貼ることにした。優しく格調のある印象になっている。

着工は7月。10月下旬の開業予定に遅れることなく完成。難しい要望もあったが、確実に工期を守った。

「患者さんに聞くと、どなたも『明るいね』と言われます。職員も、動きやすいと言っていますよ」と、山下先生。

桐沢医院には、毎日多くの患者さんが来院し、明るく広い待合室で診察を待っている。設計と工期の工夫が、合理的でやさしい医療空間を造った。

玄関に付けたスロープ。植栽のあるやさしいスペースになっている。

技のリフォーム
0120-183-304（イイワザ ミセマス）